

# フードバンクかながわ 通信

「もったいない」を「分かち合い」「ありがとう」へ

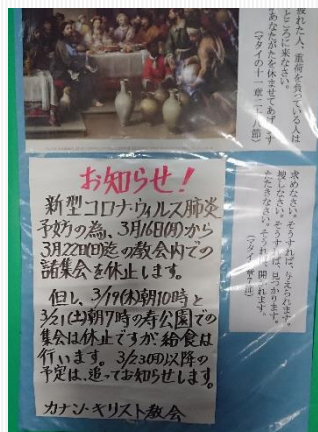


## 特集

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止で地域でおこっていること。

特集のため「今月のメッセージ」は裏面に移動

○キッズカフェ杉田は杉田キリスト教会で開いていることも食堂。新型コロナウイルス拡大防止のため、こども食堂は3月28日の開催を見送った。昼食を用意できない家庭の子どもたちに食品を届ける活動に転換し、フードバンクを利用している。

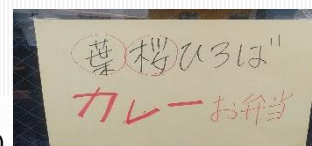


○カナンキリスト教会では教会内での集会を中止にしたが、寿公園での給食を行い、200人近くの人々が列を作ったという。クワッサン等喜ばれている。

○(社福)たすけあいゆいでは、開催しているこども食堂(月12回)や南区・磯子区・金沢区の横浜型児童家庭支援センター、子ども一時預かり施設での食事の提供量が増えている。区・児童相談所からの連絡による新規の子ども受入れが増えていることと併せて、今まで学校が終わった2時頃から預かっていたのが、朝からの預かりとなり、昼食と夕飯を提供しなければならない。中には朝食も必要な子どももいる。施設での子どもの預かり時間が長くなったのが主な要因となっている。



「葉桜ひろばで、いつも使わせてもらっている自治会のホール等が、町からの使用自粛要請で使えなくなり、2月の葉桜ひろばは急遽中止しました。学校休校が続いているので、何かできないかと相談して、本日、カレーをお弁当形式にして、自治会の玄関で受け渡しました。学童クラブのお子さんたちと、葉桜ひろばのいつもの参加者が、弾む足取りでお弁当を受け取りに来てくれました。フードバンクさんからの強力なご援助で、一人100円です。紙製の容器で素敵なカレー弁当ができました」



(横山すみ子さん)

小学生の皆さん！  
お弁当大作戦！  
無料でお弁当配布します！

日程 3月24日(火)・27日(金)・31日(火)  
4月3日(金)  
12時30分から配布(12時から整理券配布)

配布場所  
延子小地区：フェスティバルパーク  
久木小地区：久木会館  
池子小地区：スイートルーム(4号入口)  
沼田小地区：商工会館  
小坪小地区：小坪コミュニティセンター

対象 小学生(延子市在住)  
費用 無料

各地区 先着40名！  
(2時から整理券を配ります)

お弁当を持ち帰るエコバック(ビニール袋等)をご持参ください。

その場で食べることはできません。持ち帰る袋で食べたい場合は、お弁当は入っていません。

共催：市内こども食堂スタッフ有志・延子市社会福祉協議会  
協賛：延子市、延子市教育委員会・延子市民生児童委員協議会  
協賛：延子市立第一小学校、延子市立第二小学校、延子市立第三小学校、延子市立第四小学校、延子市立第五小学校、延子市立第六小学校、延子市立第七小学校、延子市立第八小学校、延子市立第九小学校、延子市立第十小学校



○逗子市では休校で孤食の子どもが増えているのに、こども食堂が開けなくなった。5つの小学校区で各40人の子どもたちにこども食堂のボランティアの方々がお弁当を作るようになった。

「いつもお世話になってます。先日はたくさんの食品をいただきありがとうございました。本日第1回目の無料配布が終了いたしました。予定では200個の予定でしたが、結果は119個でした。明日の終業式で市内全校生徒にチラシ配布をするので、次回以降増えることを期待しています」(社協・三富さん)

○泉区のコミュニティカフェ「宮ノ前テラス」ではこども食堂を控える代わりに食材を提供。赤い羽根「臨時休校中の子どもと家族を支えよう緊急支援活動助成事業」からの9万円助成を受け肉類・野菜類を購入。

フードバンクかながわからレトルトカレー、パン缶、お菓子等の提供を受け、68名の子どもに配布。また若いママたちからのニーズに応え、4月は昼の食堂も計画。(写真は団体HPより)



○生活福祉資金の特別貸し付けが3月25日から受付が始まった。今後相談が増えることも考えられる。緊急小口資金貸付は基本は10万円(コロナ患者が家族内にいる、要介護の家族がいる、4人以上の家族であるなどの条件の場合20万円)だが、食料支援とセットで対応する必要があると考えている(二宮社協)

○コロナの影響による収入減の相談が増え、緊急貸付相談開設とともに食料支援の相談をする人も増加、在庫が底をついてしまった。食品提供の追加を要請。(都築区社協)  
○「コロナに関連し、生活困窮世帯の方が多く来会され食料が少なくなっております」(泉区社協)

雇用の悪化により社協に助成金の申請を行う人が増えている。その際、食べるものが無く食支援を求める人の件数も伸びている。各社協よりカップ麺・インスタントラーメン・レトルト・缶詰等の食品の提供の要請があるが、フードバンクかながわでも在庫がないものも出ている。(フードバンクかながわ・土山)

お問い合わせ

公益社団 フードバンクかながわ [info@fb-kanagawa.com](mailto:info@fb-kanagawa.com) 発行責任：藤田 誠  
236-0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45  
Tel 045-349-5803



QRで  
ホーム  
ページ  
へ

## 基本情報

2019年度の累計  
2020/3/31

寄贈された食品  
**97トン** 27.6万点  
提供した食品  
**92トン** 27.3万点

食品寄贈締結団体 **81団体**  
食品提供締結団体 **157団体**  
行政・社協 **44団体**  
市民団体（子ども食堂含）  
**113団体**

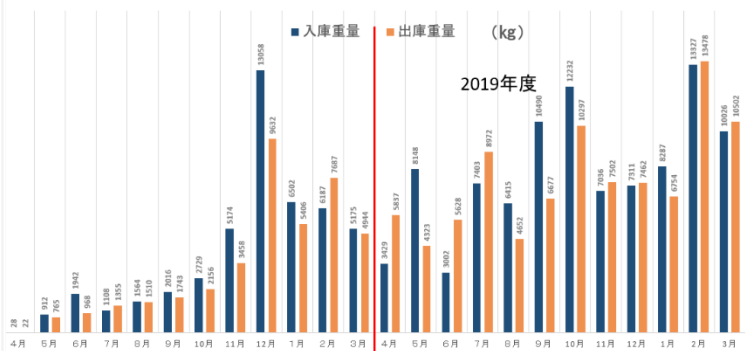
賛助会員寄付状況  
団体会員 **113団体** 469口  
469万円  
個人会員 **205人** 748口  
748千円  
寄付金累計 **11,612,313円**

(2018年度実績 寄贈46トン29万点・提供40トン25万点 寄付金6,078,734円)

## 2019年度が終了しました！ 実績を報告します

米と災害備蓄品は20トン超え  
フードドライブは15トン超え(2018年度の3倍以上)

### 2018.4.1～2020.3.31の寄贈量と提供量



2018年度実績	寄贈食品重量	46.4トン
	提供食品重量	39.8トン
2019年度実績	寄贈食品重量	97.0トン
	提供食品重量	92.0トン

## 2019年度の概況

### <寄贈と特徴>

♡「公益社団」としての信頼性と食品ロス削減推進法、各会員団体の企業・行政への働きかけにより、入庫数量・重量が順調に増えた。♡フードドライブ品は、16トンで前年の5トンを超え前年比356%。ユーコープ80店・生活クラブデポ22店、パルシステム神奈川ゆめコープ・生活クラブ・福祉クラブの宅配でのフードドライブの実施。労働組合、JA、こくみん共済COOP、労働金庫、横浜銀行、イトーヨーカ堂、イオン等でのフードドライブの実施による。♡主食の米はユーコープ10.8t、ミツハシライス7.2t、フードドライブ2.8t、生活クラブ連合会1.2tの計22tの米の寄贈があり、安定した米の提供につながった。♡鎌倉紅谷5.5t、京三製作所2.9t、一神2.9t、コカ・コーラ5.6t、NTTアドバンステクノロジー4.8t、日生協スポーツリンク5千本等大型寄贈があり、入庫重量97t（前年46t）で前年比209%。

### <提供の特徴>

♡福祉団体や地域ケアプラザ、子ども食堂等との合意書締結・提供が拡大。食品提供団体は141団体（前年85団体）、提供回数1571回（前年541回）と提供回数は前年の3倍となった。♡活動内容に合わせた食品の提供、中継拠点の活用等で各団体が利用しやすい体制が要因の一つと考える。♡出庫食品重量92t（前年39t）で前年比231%と重量で2倍の提供。

### <3月の特徴>

緊急用として引き続き並木ケアプラザ・旭区社協へ個人パッケージの食品を提供。生活困窮者・家庭へ食品の配食や宅配することも食堂もあり、子ども食堂関係団体でも食品の提供が増加。日生協から寄贈されたクワツサンは各団体から大変好評。一か月平均1.5t台の米の提供が3月は2tと1.3倍に増えた。コロナウイルスの影響で食品提供は10トンを超えた。

## 今月のメッセージ

理事 中村淳一さん

(中央労働金庫神奈川県本部  
都営営業担当部長)



中央ろうきんでは、地域社会に存在する様々な課題や顕在化していない問題の解決のために、新たな自主事業の開発と創造に取り組む市民活動団体を助成金で応援する新たな市民活動助成制度『中央ろうきん助成制度“カナエルチカラ”～生きるたのしみ、働くよろこび～』を2019年9月に創設しました。

本助成制度は、働く／働きたい人が直面する様々な課題に対して、多様な働く場・機会の創出に取り組む事業・活動、広く“ひと・まち・くらし”づくりに役立つ発想豊かな事業・活動に係る団体の、ユニークで新しい試みやチャレンジを応援します。

多くの団体・個人の連携によって目指す「相互扶助の社会づくり」に、“カナエルチカラ”がその一助になればと思っています。詳しくは<https://chuo.rokin.com>



## ボランティアさん紹介

寺田慈子さん

～ボランティアは仕事ではない良さ～

銀行で月間13日の勤務に就く寺田さんは、ある時行内に回覧されたフードバンクのチラシを見て目を引かれたそうです。ちょうど仕事が休みに入り、息子さんも大学生ですすでに独立。時間があるから、マスク工場ボランティアしようか(笑)と、思われていたとか。そこにフードバンク！



家から近い(徒歩30分!)、ということで、私たちとの出会いがありました。

事務局の土山さんは「おー！神様って感じだった、食品が片付かなくてどうしようって思ってたから。固いバナナ箱も解体できちゃうし・・・任せられる」と全面的な信頼を寄せます。

一日2時間のボランティアは運動にもなり、「仕事ではない良さを感じています」と寺田さん。ちょっと年齢の高い方々と一緒になるときは、高い棚入れを自分がやるとか(寺田さんは高身長)、心遣いもさりげない。賞味期限を見る速さを聞くと、銀行勤めで数字に強く鍛えられているかも、とにっこり。

(金沢区在住、ユーコープ組合員)